

「御堂」で県知事賞を受賞

11月28日、盛岡市こども科学館で第34回全国児童生徒木工工作コンクール県大会が開かれ、世田米中学校の特設木工部の作品「御堂」が最高賞の県知事賞を受賞しました。

この大会では県内から寄せられた88作品の審査が行われ、世田米中特設木工部の作品が高い評価を受けました。

特設木工部の活動は例年、部活動を引退した3



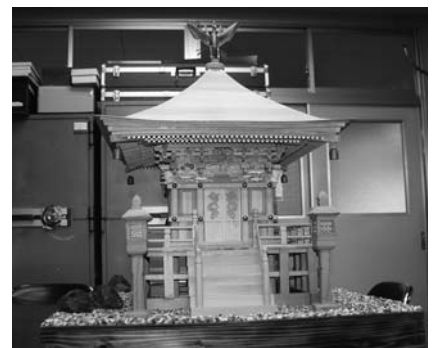
特設木工部の部員（左から紺野さん、高橋さん、菊池さん、佐々木さん）

年生が自主的に参加しており、今年は部長の佐々木敦嗣さん、紺野健さん、高橋汰綺さん、菊池太郎さんの男子4人が参加しました。

今回制作した「御堂」は、「気仙大工の技を表現したい」と陸前高田市米崎町の普門寺三重塔や過去の作品をもとに8月から本格的に制作を開始し、3ヶ月をかけて完成させました。

同校では、昭和62年から同コンクールに参加しており、県大会が行われなかつた平成10年以外は毎年、県代表として全国大会に出品し、これまでに最高賞の農林水産大臣賞を11回受賞しているのはじめ、毎回入賞の成績を納めています。

部員たちは「屋根の反りと組物が難しかった。細かい作業が多く何度も壊しながらも最後まで諦めずに作った」と話していました。



県知事賞に輝いた作品「御堂」

り返り、内海行英校長は「難しい作業が多かったが、根気良く制作していた」と部員たちの努力を称えていました。

このコンクールの全国大会は来年3月に大阪府内で審査が行われる予定になっており、今回の作品も県代表として出品される見込です。

部長の佐々木さんは「先輩たちは全国大会でも常に高い評価を受けてきたのでそこに続くことができれば」と話していました。

12年連続で 全国表彰

12月5日、毎日新聞東京本社で第23回毎日カッブ中学校体力づくりコンテストの表彰式が行われ、有住中学校が平成10年度以降12年連続で入賞しました。

このコンテストは毎日新聞社が主催し、文部科学省や日本学校体育連盟などが講演して毎年行われています。

今回はオーストラリアや中国の日本人学校、全国の中学校から4255校がエントリーし、有住中は最高賞の文部科学大臣賞に次ぐ第一学習社賞を受賞しました。

同校では、平成8年から全校トレーニングを行っており、放課後の毎日、ランニングやサーキットトレーニングに取り組み、体力向上を図っています。



受賞を喜ぶ佐々木さん左と熊谷さん右

受賞について、生徒会長熊谷祐介さん（2年）は「体力だけでなく精神面も鍛えられている。これから伝統を受け継いでいきたい」と話し、佐々木美奈さん（3年）は「全国トップレベルの評価で誇りに思う。後輩たちには新しいことを取り入れてほしい」と笑顔で話しました。

地域住民活動情報

楽しければ人は集まる！

各地区代表者交流会
12月1日、地区別計画推進母体の各地区役員15人が大股地区公民館に集い、各地区の地域づくりや町づくりについて意見交換をしながら交流しました。



盛り上がった交流会

この交流会は、各地区の地域づくり事業の活動報告や情報交換を行うことにより、課題の共有や解決策のきっかけとなる。

ちょっと心配？
ちょっと問題？の声：
最近、この町は大丈夫かなあ〜と思うことがある。
地域づくり、町づくりってなんなのかなあ〜。地域が広いとまとめるのが難しい。役員だけのまちづくりになっているような…。
近所づきあいが少なくなつたなあ〜。

その気づきや発見を見い出そうと開催しているものです。
この日は、参加者がそれぞれ一品持ち寄りであり、飲食をしながらの和やかな雰囲気の中にも、参加者の地域づくりに対する熱い想いが伝わる「楽しい交流会」となりました。
参加者の発言を抜粋してご紹介いたします。

意見・提言：

各地区で開催しているお祭りや運動会を町全体で一つにしては、地元の人が胸を張って元のことと説明できるようにになったら、魅力的な町になるのでは。
町全体の地域づくりがこの会でできたらいいなあと思っている。
このようにみんなが話すといろいろ気付きがある。この会は、楽しく継続していこう。

みんなが関心をもつてくれるにはどうしたらいいのかわる。
近所には一人暮らしがたくさんいる。日中は60歳代でも若手になるのでできることは手伝おうと思いが限界がある。
低価格競争の時代に先行き不透明で不安を感じている。
20年経つたら、地域に人がいなくなるのでは…。家が守れない…。

上有住地区計画 推進協議会

11月29日、地区内の史跡名勝などを紹介する案内板と標柱の設置作業を行いました。

案内板は、地域の宝を大切に守り伝えていくとともに、町内外に広く、上有住の良さを認識してもらおうと、昨年度から年次的に設置しているものです。

この日は、会員などおよそ15人が参加し、小松地内の県道釜石住田線沿いにあるシデの巨木「ソロの木」や地域住民の憩いの場として親しまれている「アリスパーク」など5箇所に、7本の案内



案内板設置に汗を流す会員

案内の内容	設置箇所
アリスパーク	八日町・和田野地内の3箇所
ソロの木	小松地内
二度成木御番所跡	二度成木地内
石割松	蓬畑地内
福正院・樺桜	船作地内

板や標柱を設置しました。会員らは、車道から見えやすい位置を確認しながら、掘り下げた地面に高さ2mほどの案内板を立て、足元をコンクリートで固定するなどの作業に汗を流しました。
今回設置された、案内板と標柱は次のとおりです。

◆問い合わせ

町づくり推進課
自立推進担当
☎ 46 2114
(内線261)